

授業科目名	環境・社会・企業と倫理			科目コード	G1103P04
英文名	"Environment				
科目区分	学部共通科目 - 基礎科目				
職名	教授	担当教員名	大谷 孝行		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	2限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	人が何をすべきであり、何をしてはいけないかという倫理を、社会で生起する様々な視点から考察します。特に、環境倫理、企業倫理、社会生活での倫理の立場から考えることにより、良識ある市民とし行動できる基礎を培います。 なお、企業倫理に関する回では、企業での実務経験のある方を講師として授業を行います。				
キーワード	環境倫理	企業倫理	内観		
到達目標	現代社会で起こっている環境問題を、人として行うべき倫理という立場から考えることができる。				
	社会生活を送る上で重要な、他者の立場に立って物事を考えることができる。				
	企業におけるコンプライアンス（法令遵守）やCSR（企業の社会的責任）についての実際を知り、倫理的側面から企業活動を考えることができる。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション。この授業で扱うこと。 複雑化した現代社会の中で、私たちがどのように生きるべきか、してはいけないことは何かという倫理の問題を考える。	
	【予習】	
	【復習】「環境倫理」、「情報倫理」、「コンプライアンス」という用語について調べ、語の理解を深めておく。	40分
第2回	環境問題と倫理（１） 環境倫理学とはどのような学問か？ 人間が様々な生物や物とのつながりの中で生きていることを知る。アルド・レオポルドの『土地倫理』。生態系。人間は動物とどのように関わりながら生きていけばよいのか？ ピーター・シンガーの『動物の権利』。人間中心主義に対する検討。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】アルド・レオポルドがどのような人物であるか、その経歴について調べておく。	30分
	【復習】日頃の生活の中で見過ごしてきた「人間中心主義」について具体例を挙げて改善策を考える。	40分
第3回	環境問題と倫理（２） 人間の経済活動と環境負荷の問題を考える。レイチェル・カーソンの『沈黙の春』。生物濃縮。日本の公害問題。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】「生物濃縮」という用語について調べ、公害との関係を考える。	30分
	【復習】レイチェル・カーソンが自分の研究成果を公表することによって生じた企業との軋轢について調べる。	40分
第4回	環境問題と倫理（３） 子や孫の世代のことを考える。世代間倫理。未来世代への責任。ハンス・ヨナスの思想。地球温暖化問題。アル・ゴア『不都合な真実』。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】「世代間倫理」という用語を調べ、この用語が提起した問題の新しいさについて考えておく。	30分
	【復習】アル・ゴアの研究成果に関わる賛否両論について調べる。	40分
第5回	環境問題と倫理（４） 日本人が伝統的に培ってきた自然観とは？日本語と日本文化の観点から、自然との関係を考える。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】「山川草木」、「花鳥風月」と密接に関わっている日本文化には、どのようなものがあるのかを調べておく。	30分
	【復習】自然を愛する特徴をもった日本文化の例を挙げて、なぜそう言えるのかを説明できるようにする。	40分
第6回	社会生活上の倫理を考える（１）～生命倫理を考える～ 安楽死の問題。積極的安楽死と消極的安楽死。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】「積極的安楽死」、「消極的安楽死」という用語について調べておく。	30分
	【復習】森鷗外『高瀬舟』について、その内容を調べ、安楽死問題とどのような関係があるのかを考える。	40分
第7回	社会生活上の倫理を考える（２）～倫理教育としての内観～ 日本の伝統的な自己洞察法である内観が果たす倫理教育としての面を取り上げる。他者の立場に立つということや、健全な罪意識について考える。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】「内観」はどのような方法で行われるのかを調べておく。	30分
	【復習】小学校時代の自分について、親に対する内観３項目を調べる。	40分

第8回	社会生活上の倫理を考える（３）～笑い倫理～ 笑いには攻撃性を含む笑いがあり、人を精神的に傷つける場合もある。笑いの持つ攻撃性やそれを利用する風刺の笑いについて考える。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】笑いに関する「優越の理論」について調べておく。	30分
	【復習】権力者に対する批判として使われた風刺としての笑いについて、その例を挙げる。	40分
第9回	企業倫理を考える（１） 県内企業・組織（金融業界）の方に、企業活動・組織活動において、特にコンプライアンスやCSRという観点から留意すべき事例を挙げていただき、すべきこと・してはならないことについて考える。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 講師：富山県内の金融業界に関わる実務経験のある講師	
	【予習】業界での倫理的問題について、どのような事例が想定されるかを予め考えておく。	30分
	【復習】業界での倫理的問題について、それに関連した社会的な事例がないかを、ニュースや新聞記事から探す。	40分
第10回	企業倫理を考える（２） 県内企業・組織（エネルギー業界）の方に、企業活動・組織活動において、特にコンプライアンスやCSRという観点から留意すべき事例を挙げていただき、すべきこと・してはならないことについて考える。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 講師：富山県内のエネルギー業界に関わる実務経験のある講師	
	【予習】業界での倫理的問題について、どのような事例が想定されるかを予め考えておく。	30分
	【復習】業界での倫理的問題について、それに関連した社会的な事例がないかを、ニュースや新聞記事から探す。	40分
第11回	企業倫理を考える（３） 県内企業・組織（宿泊業界）の方に、企業活動・組織活動において、特にコンプライアンスやCSRという観点から留意すべき事例を挙げていただき、すべきこと・してはならないことについて考える。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 講師：富山県内の宿泊業界に関わる実務経験のある講師	
	【予習】業界での倫理的問題について、どのような事例が想定されるかを予め考えておく。	30分
	【復習】業界での倫理的問題について、それに関連した社会的な事例がないかを、ニュースや新聞記事から探す。	40分
第12回	企業倫理を考える（４） 県内企業・組織（卸売業界）の方に、企業活動・組織活動において、特にコンプライアンスやCSRという観点から留意すべき事例を挙げていただき、すべきこと・してはならないことについて考える。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 講師：富山県内の卸売業界に関わる実務経験のある講師	
	【予習】業界での倫理的問題について、どのような事例が想定されるかを予め考えておく。	30分
	【復習】業界での倫理的問題について、それに関連した社会的な事例がないかを、ニュースや新聞記事から探す。	40分
第13回	社会生活上の倫理を考える（４）～情報倫理を考える～ 社会生活を送る上で留意すべき情報倫理に関する色々な問題や事例を挙げながら、すべきこと・してはならないことについて考える。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】情報に関わる倫理的問題について、どのような事例が想定されるかを予め考えておく。	30分
	【復習】情報に関わる倫理的問題について、それに関連した社会的な事例がないかを、ニュースや新聞記事から探す。	40分
第14回	社会生活上の倫理を考える（５）～メディアの倫理を考える～ メディアにおける留意すべき倫理的問題の色々な事例を挙げながら、すべきこと・してはならないことについて考える。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】メディアを巡る倫理的問題について、どのような事例が想定されるかを予め考えておく。	30分
	【復習】メディアを巡る倫理的問題について、それに関連した社会的な事例がないかを、ニュースや新聞記事から探す。	40分

第15回	総まとめ これまでの授業内容を振り返りながら、今一度、現代社会の中で、私たちがどのように生きるべきか、してはいけないことは何かという倫理の問題を考える。	
	【予習】	
	【復習】これまでの授業で取り上げられた倫理的問題を、特にキーワードに注意しながら考え、今一度、現代社会の中で、私たちがどのように生きるべきか、してはいけないことは何かという倫理の問題を考える。	40分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 1 については、授業中に指定する課題を中心に評価します。 到達目標 2 については、授業中に指定する課題と期末筆記テストで評価します。 到達目標 3 については、授業中に指定する課題と期末筆記テストで評価します。 評価比率は、課題(50%)、期末筆記テスト(50%)。 なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。		
使用資料 <テキスト>	特に使用しません。	使用資料 <参考図書>	授業中、随時指摘します。
授業外学修等	毎回の予習・復習をしっかりとすること。		
授業外質問方法	オフィスアワーの時間帯を使って質問してください。		
オフィス・アワー	月曜日 3 限、研究室324。		